

REFINITIV® WORLD-CHECK® RISK INTELLIGENCE

収録基準概要

Refinitiv™ World-Check® のデータベースは、厳密なリサーチをもとに、PEPs (公的要人) やリスクの高い個人および組織について 2000 年以降のデータを収録しています。世界中の多くの組織が、マネーロンダリングおよびテロ資金供与の検知や防止、顧客やサードパーティのデューデリジェンス対応にこのデータベースを活用しています。さらに、米国腐敗行為防止法 (FCPA) や英国贈収賄防止法はじめ類似の法令で定められている要件に従って取引先などのスクリーニングを行い、贈収賄や汚職のリスクを避けることもできます。

信頼性の高いさまざまな情報ソースから取得したデータを、高度なトレーニングを受け専門スキルを持つリサーチ・アナリストで構成されるチームがとりまとめ、重複のない集約された単一の情報源として提供しています。すべての情報は、独自のデータベースを使用して高度に構造化されたリスク関連インテリジェンスに基づいたオープンソースのパブリック・ドメインデータから抽出され、風評被害、規制、金融犯罪リスクの管理、回避に役立ちます。

World-Check は、英国データ保護法 (DPA) およびスイスのデータ保護法に準拠しています。リフィニティブは、保有する個人および法人に関するデータが正確かつ適切、最新、公正なものであり、また必要な範囲を超えて長期に保有されないことがないように、妥当な措置をとる義務を負っています。

以下は、当社が採用する収録基準のサンプルです。



- 国際的および国別の制裁リストや禁輸国リストに名称が掲載されている
- 法または規制執行リスト、もしくははその他政府機関や金融規制当局の指名手配リストに掲載されている
- PEPs とその親族または密接な関係者
- 国有企業 (SOE) とその経営幹部

- World-Check がモニタリングする前提犯罪に関する告発、尋問、捜査、逮捕、告訴、有罪判決を受けたとして、定評のあるメディアで報道された個人および企業
- 禁輸・制裁対象の国または企業と直接的または間接的な関わりやつながりを持つ船舶とその管理者

嫌疑をかけられていることがメディアで報じられている場合、同一の内容を報道する信頼性の高い情報ソースを可能な限り 2 件以上取得しています。ブログ、掲示板、SNS などのサイトについては、経歴情報に関しては有用な場合もありますが、リスク情報の根拠としては利用していません。

Refinitiv (リフィニティブ) は世界有数の金融市場データのプロバイダーで、約 190 カ国で 4 万社を超える企業・機関にサービスを提供しています。先導的なデータとインサイト、トレーディング・プラットフォーム、市場データ・インフラストラクチャー、オープン・テクノロジー・プラットフォームを通じて、世界の金融市場コミュニティを相互に接続し、発展を支えます。それによりトレーディング、投資、ウェルスマネジメント、規制およびマーケットデータ管理、企業が抱えるリスク、金融犯罪追跡などの分野において進化をもたらす先駆者としての役割を果たしていく所存です。

ウェブサイト: refinitiv.com/ja/wc

 @Refinitiv  Refinitiv